

CLAIR トピックス

——最近のクリアの動きや所管国の状況等を短くまとめて紹介します



北京事務所

「街並み(景観)保存と地域振興」をテーマにクリア北京事務所所長がオンライン講演を行いました

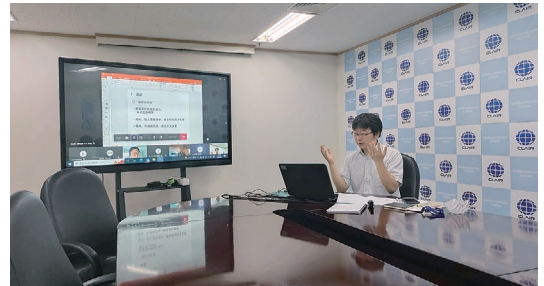
8月5日、中国の公益組織である平瀾公益基金会の主催により日本の各自治体の優良取組事例を学ぶセミナーが開催され、「街並み(景観)保存と地域振興」をテーマにクリア北京事務所所長がオンライン講演を行いました。

平瀾公益基金会は中国内外の開発課題に取り組む公益法人で、本セミナーは、中国政府から委託を受ける浙江省内の農村開発事業の一環として実施されました。クリア北京事務所は独立行政法人国際協力機構(JICA)中国事務所からの依頼で参加し、当日は約50名の同基金会メンバーなどが出席しました。

講演では、クリアおよび北京事務所の組織紹介に加え、日本の行政制度の概要とともに、高度経済成長期が日本の各地方都市に与えた影響に触れながら、岐阜県の白川郷、長野県の妻籠宿、滋賀県の黒壁スクエア、愛媛県の内子町を事例に自治体が行う街並み保全の活動を時系列に沿って説明しました。

また、伝統的景観の保全と地域振興の両立のためには行政と民間が双方で関わり合い、ワークショップなどを通じた地域住民との合意形成を大切にする必要があると強調しました。参加者からは合意形成に至るまでのプロセスや手続きの詳細に関する質問が複数寄せられ、興味・関心がうかがえました。

クリア北京事務所では、中国国内に向けた日本の自治体の取組紹介は日中両国間の相互理解を促進する上で重要であると考えており、今後も様々な機会を捉え、情報発信を行ってまいります。



オンライン講演を実施するクリア北京事務所所長



シドニー事務所

4年ぶりに Japan Festival Wellington が開催されました！

6月18日、ニュージーランドのウェリントン市で Japan Festival Wellington が開催されました。

これまでは2年に1度開催されていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2018年を最後に開催されておらず、今回は4年ぶりの開催ということもあり、約2万5,000人ももの来場者で賑わい、多くの方が食、芸能、武道などの日本文化に触られました。

日本食や工芸品の販売、文化体験など30を超えるブースが出展され、ステージでは日本の音楽や武道などのパフォーマンスが行われており、クリアシドニー事務所職員は日本の自治体の観光PRとJETプログラムのPRを行いました。その中で、「日本を訪れる日を楽しみにしている」といった意見が多く寄せられたことに加えて、学生からJETプログラムに関する相談や質問を受け、日本への興味・関心を持つ人の多さと訪日への期待の高さを感じました。

また、ウェリントン市の姉妹都市である堺市の永藤英機市長からのビデオメッセージや、両市の交流についての動画も放映され、両市が紡いできた交流の歴史と絆の強さを垣間見ることができました。

今年は日本とニュージーランドの外交関係樹立から70年を迎えます。

新型コロナウイルス感染症の影響で中断せざるを得なかった様々な交流が、このイベントをきっかけに再度活発になることを期待しています。



ブースでPRするクリアシドニー事務所職員



ステージ(太鼓演奏)の様子



ロンドン事務所

海外 PR 用 Instagram アカウント「Local eyes Japan」をご活用ください！

クリアロンドン事務所では、日本の地方自治体の海外プロモーションを支援し、より多くの外国人に日本のローカルな魅力を知ってもらうことを目的として、海外 PR 用 Instagram アカウント「Local eyes Japan (@localeyesjapan)」を開設しています (URL: <https://www.instagram.com/localeyesjapan/>)。

ここでは、自治体の皆様からご応募いただいた日本全国の名所や美しい景色、料理、文化など、多岐にわたって日本の隠れた魅力を発信しています。

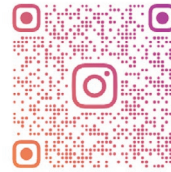
自治体の皆様にお気軽にご利用いただけるよう、専用の投稿用フォームをご用意しているほか、投稿文の英訳もお手伝いしており、日本語での応募も可能です。

自治体の公式 Instagram をお持ちの場合は、投稿写真にアカウントをタグ付けしますので、貴自治体やアカウントを PR する場としてもご活用いただけます。ぜひご応募ください。

ご応募は通年で受け付けていますので、投稿をご希望の場合はクリアロンドン事務所までお気軽にお問い合わせください。

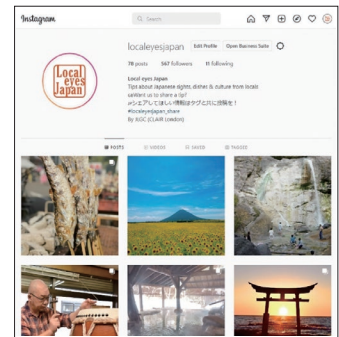
【お問い合わせ】クリアロンドン事務所

Mail : apply@jlgc.org.uk



LOCALEYESJAPAN

Local eyes Japan
二次元バーコード



@localeyesjapan



ニューヨーク事務所

NPT (核兵器不拡散条約) 再検討会議へ出席

8月1日から26日までニューヨークの国際連合本部において開催されたNPT再検討会議に合わせ、被爆地である広島および長崎から多くの自治体関係者がニューヨークを訪問しました。当初、2020年に開催予定であった同会議は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により4度の延期を経て、ようやく今回開催されるに至りました。

同会議では、初日に岸田文雄首相が演説を行いました。広島市および長崎市は、国際NGOとして活動する平和首長会議の代表団として出席し、代表して長崎市長がスピーチを行ったほか、各国政府関係者との核軍縮についての意見交換、関連イベントへの出席や被爆者との面会を行いました。また、広島県および長崎県はサイドイベントとしてパネルディスカッションなどを開催しました。

今回、当事務所では、職員による訪問先などへのアテンド、イベント支援、北米事情のブリーフィングなどの支援を行いました。クリアでは、自治体が海外で活動する際の人的、物的サポートを行っています。今後、北米での活動を計画している自治体の方々がいらっしゃいましたら、ぜひ当事務所へご相談ください！



国連本部でスピーチする長崎市長



平和首長会議原爆ポスター展ブースでパンフレットを手に取る来場者



パリ事務所

日本酒・焼酎の新イベント「MATSURI」にて自治体 PR !

2022年7月2日から4日、パリ郊外パンタン市で、日本酒と焼酎のフェスティバル「MATSURI」が開催されました。

今年初めて開催されたこのイベントでは、日本酒・焼酎の試飲や販売だけでなく、着物、和雑貨、和食器などの販売も実施されており、日本のお祭りを体験し老若男女問わず楽しめるものとなっていました。

クリアパリ事務所ではこのイベントにブースを出展し、日本の各地域のPRを行いました。ブースには多くの方々を訪れ、「最新の観光情報を教えてほしい」というリクエストを受けて、東京・京都・大阪といったゴールデンルートに加え、お寺で禅の体験ができる福井県や自然豊かで海産物が美味しい北海道などの各都市も紹介しました。

一方で、フランスから日本への渡航状況についてのご質問もいただき、新型コロナウイルス感染症拡大以前のように日本へ渡航しやすくなることを期待する声も多く、日本への旅行を待ち遠しく思っている方が多いことを実感しました。

クリアパリ事務所では今後も日本関連のイベントに出展し、日本の各地方のPRを進めて参ります。



日本酒・焼酎の試飲を楽しむ参加者



日本各地域のプロモーションをするクリアパリ事務所職員



ソウル事務所

インターン実習生2名がクレアソウルで大活躍!

クレアソウル事務所では、毎年、インターン実習生の受け入れを行っており、8月から1カ月間、2名の実習生を受け入れました。お二人には、さまざまな事業を通して、クレアソウル事務所の取り組みや日本の地域の魅力について知っていただくとともに、日本の職場の雰囲気を肌で感じていただきました。

韓国において使用率の高い情報交換サイトである Naver カフェの調査や、インターネットから入手した PDF をフォトショップを利用しての資料作り、韓国最大規模の草の根文化交流イベントである「日韓交流おまつり」の準備として、日本の地方自治体の観光 PR 広報の翻訳など幅広い業務を行っていただきました。

特に上記イベントに参加するボランティアに向けたオリエンテーションでは、200人以上の前で、JET プログラム事業に関する説明の通訳など、事務所の運営に貢献していただきました。

また、韓国国会議員との面談では、高い言語能力を活かして、事務所職員の通訳を行ったほか、各自が関心のあることについて積極的に質問するなど、クレアソウル事務所ならではの充実した実習になりました。

当事務所では、将来的に日韓の架け橋となるような人材育成につながるよう今後もインターン実習生の受け入れを続けていく予定です。



日韓交流おまつりオリエンテーションの通訳の様子



国会議員との面談の様子



シンガポール事務所

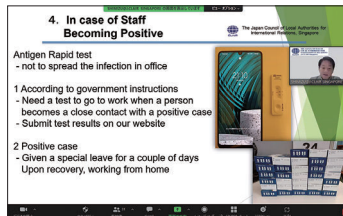
バンコク都職員向けオンラインワークショップにクレア職員が参加

クレアシンガポール事務所は、7月27日にタイの Bangkok Metropolitan Administration (バンコク都) が「COVID-19 パンデミック時の国際機関の人材育成」をテーマに開催したワークショップに参加しました。

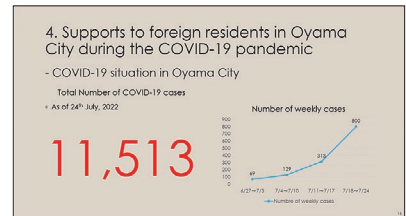
ワークショップには国際課の職員を中心に25名が参加し、「コロナ禍におけるクレアシンガポール事務所の運営」に加え、「愛知県一宮市がコロナ禍で開催した七夕まつり」と「栃木県小山市のコロナ禍における姉妹都市交流や在住外国人支援」についてそれぞれの自治体から派遣されている職員が事例紹介を行いました。

質疑応答の時間にはたくさんの質問が寄せられ、参加者同士で COVID-19 パンデミック発生後、自治体職員にとって重要なスキルとは何かと問いかけ合う、高い自己研鑽意欲を感じるやり取りもありました。

当事務所は今後も所管国各国の自治体との交流を行い、日本の自治体との相互理解を深め、関係性の強化に努めてまいります。



コロナ禍におけるクレアシンガポール事務所の運営



栃木県小山市のコロナ禍における姉妹都市交流 / 在住外国人支援



交流親善課

2023 年度国際交流支援事業の助成団体を募集しています!

クレアでは、地方自治体や地域国際化協会が主体的に行う国際交流事業のうち、交流の拡大や発展が見込まれ、地域住民などの幅広い参画が見込まれる事業に、対象経費の一部を助成しています。特に、活用実績のない団体におかれては、申請のご検討をお願いします。

【対象事業】 ・姉妹提携または友好提携に係る記念事業 ・文化、芸術または研究に関する交流事業 ・青少年交流に関する事業 ・国際会議に関する事業 ・その他地域の特性を活かした交流事業

原則として、新規事業が助成の対象ですが、継続的に行われている事業であっても他の自治体や地域国際化協会のモデルとなるような、先駆的な事業であれば対象となります。

【対象団体】 都道府県、市区町村、地域国際化協会

【助成金額】 助成対象経費の 1/2 以内、上限は以下の金額

海外で行う事業・・・500万円 国内で行う事業・・・300万円

【本事業の詳細】 申請締切 (予定)：11 月末

<http://www.clair.or.jp/j/exchange/shien/page-5.html>

【お問い合わせ】 交流支援部交流親善課

Tel : 03-5213-1723 Mail : koushin@clair.or.jp



両市長と民間交流団体とのオンライン交流会の様子

「田原市・ジョージタウン市姉妹都市提携 30 周年記念事業」(愛知県田原市 / 2021 年度助成)

経済交流課

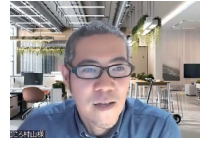
2022 年度第 2 回海外経済セミナー

「海外販路開拓・インバウンド対策の基礎」を開催しました！

8月4日にオンラインで開催した今回のセミナーでは、クレアのプロモーションアドバイザーをお迎えし、海外販路開拓とインバウンド対策という2つのテーマに関して、その基礎知識およびコロナ禍における環境変化に対応した考え方や、必要となる施策についてご講演いただきました。



ビンテージマネジメント株式会社 代表取締役社長 安田哲氏



株式会社やまごころ 代表取締役 村山慶輔氏

2022 年度第 3 回海外経済セミナー

「シンガポールのスタートアップ・東南アジアにおける自治体の販路開拓」を開催します

- 日時：2022年10月14日（金） 11:00～17:00
- 会場：全国都市会館（東京都千代田区平河町2丁目4-2）または Zoom ウェビナー
※全国都市会館へご来場の皆様には、講師・参加者同士の名刺交換の時間を設けております。
- 対象者：地方自治体職員 ■申込先：ホームページよりお申し込みください
- お問い合わせ 交流支援部経済交流課 Tel: 03-5213-1726 Mail: keishin@clair.or.jp



JET プログラム事業部

JET キャリアアップインターンシップ研修を実施しました

クレアでは、JET 参加者の JET プログラム終了後のキャリアアップを目的とした各種キャリア支援事業を実施しています。その一つとして、教育や公的機関以外で勤務経験を積むことを希望する JET 参加者を対象に「JET キャリアアップインターンシップ研修」を毎年実施しています。

今年は、39名の JET 参加者がインターンシップ実習生として建築から観光まで多様な分野の企業で幅広く経験を積みました。

参加された島根県松江市の CIR（国際交流員）郭 晨然（カク シンゼン）さんからは「責任者とのコミュニケーションを通じてたくさん学びがあり、勉強になった。今回の経験を今後の就職活動に活かしていきたい」との感想をいただきました。

グローバル人材を求める企業と国際感覚に優れている JET 参加者の出会いの場となるインターンシップ研修は、企業にとっても意義のある事業です。外国人の受入れを検討されている企業には社内環境整備の機会ともなります。JET 参加者と一緒に働く経験について「JET 参加者は優秀であり、任用されている地域への思いが強いからこそ、海外とのビジネスチャンスを考えるときに彼らの視点が大変参考になる」と、受入企業からも高い評価をいただきました。

採用を前提で参加されている企業もあり、この研修が就職につながることを期待しています。



インターンシップの様子

多文化共生課

2022 年度オンライン対応能力向上研修会を開催しました

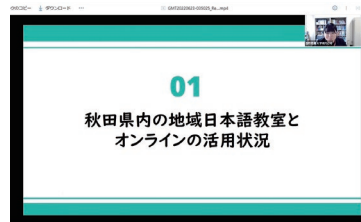
新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで対面で実施してきた生活相談や講座などもオンラインによる対応が図られています。このような状況を踏まえ、クレアでは 2021 年度から「オンライン対応能力向上研修会」を開催しており、2022 年度は、「日本語学習支援」に関するオンライン対応能力向上に特化する形で実施しました。日本語教室のオンライン化にあたっての課題や、それらの課題を解決する方法、運営にあたっての工夫を学び、日本語学習支援のフォローアップとなるよう、オンライン活用に積極的な秋田市の関係者の皆様にご協力いただきました。

自治体職員、地域国際化協会職員、市町村国際交流協会職員を対象に、2022年6月23日に開催したところ、300名の定員を超える申し込みをいただき、盛況のうちに終えることができました。

基調講演は、国際教養大学の嶋ちはる准教授から、現状や課題、その解決事例を踏まえたお話をいただき、続いて、日本語教室を運営する自治体の役割について、秋田市企画調査課から、最後に、教室現場の取り組みについて、秋田市日本語教室から、それぞれ現場ならではの課題・工夫を事例紹介いただきました。

申し込み時に事前アンケートを実施し、その内容を、講師の皆様と共有することで、当日の講演内容の充実を図ったことに加え、当日、チャット機能を使って受講者から寄せられたコメントについて、講師の方々に一つ一つお答えいただいた結果、事後アンケートでは9割を超える受講者から「役に立つ内容だった」との回答をいただきました。

来年度も、アンケートでいただいたご意見を参考に、諸事業を企画したいと考えておりますので、引き続きご協力のほどよろしく申し上げます。



基調講演の様子



事務局による配信作業の様子